

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-522534(P2004-522534A)

【公表日】平成16年7月29日(2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-029

【出願番号】特願2002-567096(P2002-567096)

【国際特許分類第7版】

A 44 B 18/00

【F I】

A 44 B 18/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月21日(2005.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリマー基材と、

前記基材の第1の側に配置された複数のフックと、

前記基材の第2の側に配置された複数のループと、を含むファスナーであって、

前記ファスナーが縦軸を有し、前記フックが形成されるとき、またはされた後に前記基材が前記縦軸に沿って単軸配向されていることを特徴とするファスナー。

【請求項2】

前記ファスナーが、等式  $r_w/a = \text{重量}/\text{面積}$  により定義される比率  $r_w/a$  を有し、前記ファスナーが束破断強度  $s_{b_b}$  を有し、比率  $s_{b_b}/r_w/a$  が  $0.020 (km/s)^2$  より大きい、請求項1に記載のファスナー。

【請求項3】

前記ファスナーが、等式  $r_w/a = \text{重量}/\text{面積}$  により定義される比率  $r_w/a$  を有し、前記ファスナーが規格化引張りモジュラス  $m_t$  を有し、比率  $m_t/r_w/a$  が  $0.57 (km/s)^2$  より大きい、請求項1に記載のファスナー。

【請求項4】

前記ファスナーが剛性  $s$  を有し、比率  $s_{b_b}/s$  が  $80$  より大きい、請求項1に記載のファスナー。

【請求項5】

前記ファスナーが引張り強度  $s_t$  を有し、比率  $r_{s_t/s} = s_t/s$  が  $102$  より大きい、請求項1に記載のファスナー。

【請求項6】

前記ファスナーが  $3,893$  より大きい比率  $r_{m_t/s} = m_t/s$  を有する、請求項1に記載のファスナー。

【請求項7】

前記フックは、前記基材のリブの別個の部分を分離することにより形成されている、請求項1に記載のファスナー。

【請求項8】

比率  $r_{m_t/s} = m_t/t$  が  $0.15 \text{GN}/\text{m}^2$  より大きい、請求項1に記載のファスナー。

**【請求項 9】**

前記ファスナーが厚さ  $t$  を有し、比率  $r (s_{bb} / t)$  が  $7.2 \text{ MN/m}^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

**【請求項 10】**

比率  $r (s_t / r_w / a)$  が  $0.026 (\text{km/s})^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

**【請求項 11】**

比率  $s_t / t$  が  $8.8 \text{ MN/m}^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

**【請求項 12】**

$s_{bb}$  が少なくとも約  $8,760 \text{ N/m}$  あり、

$r_w / a$  が約  $0.0432 \text{ g/cm}^2$  未満あり、

$m_t$  が少なくとも約  $0.16 \text{ MN/m}$  あり、

$s_t$  が少なくとも  $8,230 \text{ N/m}$  あり、

$s$  は、多くても  $109 \text{ N/m}$  である、請求項 1 に記載のファスナー。